

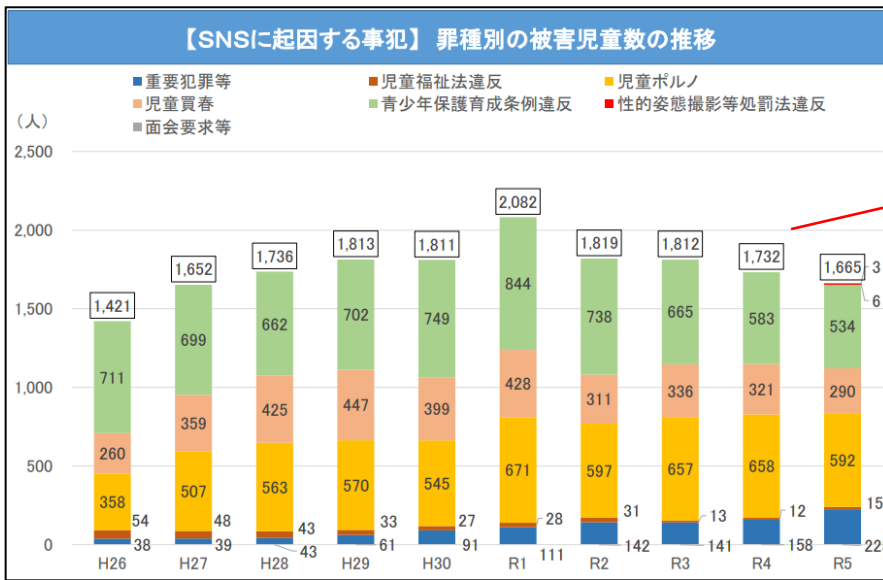
犯罪のきっかけとなるオンラインゲーム

～被害にあわせないために親ができること～



SNS がきっかけとなる犯罪において、こどもがオンラインゲームで結びついた人を通して、県外で強盗などの実行犯になってしまったり、海外へ行き、特殊詐欺グループに加担してしまったりということが起こっています。

家の中で、ただオンラインゲームをしていたこどもたちが、巻き込まれています。



年間1500人以上のこどもたちが、犯罪に巻き込まれています

出典：【SNSに起因する事犯】罪種別の被害児童数の推移/警察庁
https://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/npoads/R5kodomo.pdf

【オンラインゲーム上のリスクとして、保護者等に知っていただきたい事項】

(1)小学生など年少の利用者も被害に遭っている。

オンラインゲーム起因の被害児童数は小学生が年々増加している。

(2)ほとんどのオンラインゲームに「ボイスチャット」や「メッセージ交換」の機能が備わっており、匿名・不特定の者とも簡単にやりとりができる。

ゲーム中の会話において、ひわいな話題に興味を示した子供を犯罪の標的とする者がいる。

(3)協力してゲームを行うことを通じて、見知らぬ者にも「仲間意識」を持ちやすい。

戦闘ゲームにおいて同じチームでプレイをし、「仲間意識」を強めて子供の信頼を得た上で犯罪行為を行う者がいる。

(4)ゲーム内における高価な「アイテム」の授与等の甘言を用いられ、被疑者の言うことに従ってしまう。

ゲーム内で使用する有料の「アイテム」をプレゼントすることにより、子供の信頼を得た上で犯罪行為を行う者がいる。

(5)ゲームの上級者に対する「憧れ」の感情を利用される。

ゲーム攻略のアドバイスをするなど「ゲームの上手な優しい人物」を演じて子供の信頼を得た上で犯罪行為を行う者がいる。

『今こそ、家族でオンラインゲームについて話し合っていたきたい!』

オンラインゲームを含むネットトラブルは、子どもたちが誰にも打ち明けられずに、被害が大きくなる傾向があります。だから、何もトラブルに巻き込まれていないときこそ、家族でオンラインゲームについてじっくり話し合い、「家族オリジナルのルール」を作り上げておくことが大切です。決めたルールで規制するだけのものではありません。安全な使い方を一緒に確認していくものです。

ルールを決めるときに、ぜひ参考にしてほしいHPはこちら↓↓↓

・家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ 総務省

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely_parent_teacher/digital_citizenship/

こどもの普段の生活の中で、いつ、どのデジタル機器を、どのような目的で、利用しているかを振り返り、その子が守っていけるルールをつくったり、どのような使い方が安全なのかを話し合ったりできるHPです

また、子どもがつくったルールを守っているかの管理が難しい保護者の皆さん、ぜひ、**ペアレンタルコントロール**を活用しましょう。

いろいろなペアレンタルコントロールをご紹介します

↓↓↓

・インターネット安心・安全通信 保護者向け第11号

「やってきました! ペアレンタルコントロールの見直しの時期です!」



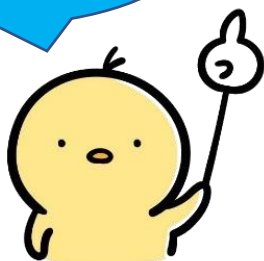
<出典>「子供が犯罪に巻き込まれるきっかけとなるオンラインゲームに関する注意喚起」について/警察庁

https://www.npa.go.jp/policy_area/no_cp/images/prevent/image01.pdf

家庭で学ぶデジタル・シティズンシップ 総務省

https://www.soumu.go.jp/use_the_internet_wisely/parent-teacher/digital_citizenship/

あわせて読んで
いただきたい!



「海外で儲かる仕事」は危険です!/警察庁

<https://www.npa.go.jp/news/release/2025/shiryu202502.pdf>

インターネット
安心安全通信HP

X(エックス)
安全安心ふくい

【お問い合わせ】

福井県防災安全部県民安全課

☎:0776-20-0296(直通)

メール:kenan@pref.fukui.lg.jp

